

講習で等修の物造構造 JCMAがフォーラム開催



一般社団法人コンクリートメンテナンス協会（JCMA、徳納武使会長）は8日、福岡市で『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2013』写真Ⅱを開催した。今年度は福岡市を皮切りに全国には約170人が参加し、補修工法選定の考え方や適用性などについて、熱心に受講した。

JCMAではコンクリート構造物の維持管理技術に関するフォーラムを全国各地で毎年開催している。後援は、土木学会、日本コンクリート工学会、プレストレストコンクリート工学会など。開催に先立ち、徳納会長は「これまではコンクリート劣化のメカニズムや対処方法を中心に講演していたが、今回は補修

方法に重点を置いていく」などと講習内容について説明。「我々の工法などに賛同頂けたならば、一緒に補修に取り組みたい」と語った。

この後、江良和徳氏（工学博士、極東興和）が『コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方』と題し講演。コンクリート構造物の主な劣化、劣化要因に応じた補修工法選定の考え方、亜硝酸リチウムを用いた補修工法について、具体的事例を交えながら分かりやすく説明した。このほか中丸大輔氏（コンクリート診断士、日本ペイント販売）が『コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて』をテーマに講演を行った。

同フォーラムは土木学会認定CPDプログラム（3・5単位）となっている。